

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公開番号】特開 2020-68855 (P2020-68855A)

【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2020-018

【出願番号】特願 2018-202644 (P2018-202644)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 7 日 (2020.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、  
駆動源と、  
前記駆動源の動力を伝達する動力伝達手段と、  
前記駆動源の動力が前記動力伝達手段により伝達されることにより第 1 位置から第 2 位置へ動作する可動体と、  
を備え、  
前記動力伝達手段は、前記駆動源の動力により回転する回転伝達部材を有し、  
前記可動体は、前記回転伝達部材に一端側が回転可能に軸支され、該回転伝達部材の回転動作に応じて前記第 1 位置から前記第 2 位置まで動作するものであり、  
前記遊技機は、前記可動体が前記第 1 位置と前記第 2 位置とのうち少なくとも一方に位置したときに該可動体の他端側に当接可能な受部をさらに備え、  
前記可動体は、前記第 1 位置と前記第 2 位置とのうち少なくとも一方に位置したときに該可動体の他端側が遊技者側から視認容易である  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

手段 A の遊技機は、  
遊技が可能な遊技機であって、  
駆動源と、  
前記駆動源の動力を伝達する動力伝達手段と、  
前記駆動源の動力が前記動力伝達手段により伝達されることにより第 1 位置から第 2 位置へ動作する可動体と、  
を備え、  
前記動力伝達手段は、前記駆動源の動力により回転する回転伝達部材を有し、

前記可動体は、前記回動伝達部材に一端側が回動可能に軸支され、該回動伝達部材の回動動作に応じて前記第 1 位置から前記第 2 位置まで動作するものであり、

前記遊技機は、前記可動体が前記第 1 位置と前記第 2 位置とのうち少なくとも一方に位置したときに該可動体の他端側に当接可能な受部をさらに備え、

前記可動体は、前記第 1 位置と前記第 2 位置とのうち少なくとも一方に位置したときに該可動体の他端側が遊技者側から視認容易である

ことを特徴としている。

手段 1 の遊技機は、

遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

駆動源（例えば、第 1 演出用モータ 407 等）と、

前記駆動源の動力を伝達する動力伝達手段（例えば、第 1 ギヤ 408 ~ 第 3 ギヤ 410、アーム 403 等）と、

前記駆動源の動力が前記動力伝達手段により伝達されることにより第 1 位置（例えば、待機位置等）から第 2 位置（例えば、演出位置等）へ動作する可動体（例えば、可動体 404 等）と、

を備え、

前記動力伝達手段は、前記駆動源の動力により回動する回動伝達部材（例えば、アーム 403 等）を有し、

前記可動体は、前記回動伝達部材に一端側が回動可能に軸支され、該回動伝達部材の回動動作に応じて前記第 1 位置から前記第 2 位置まで作動するものであり（例えば、可動体 404 は、アーム 403 に対して回動しながら該アーム 403 の回動動作に応じて待機位置と演出位置との間を作動する。）、

前記遊技機は、前記可動体が前記第 1 位置と前記第 2 位置とのうち少なくとも一方に位置したときに該可動体の他端側に当接可能な受部をさらに備える（例えば、可動体 404 が演出位置から待機位置に移動したときに、該可動体 404 の他端 404 A が受部 403 d に接触する。図 33 参照。）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、回動伝達部材に一端側が回動可能に軸支された可動体は、第 1 位置や第 2 位置にて他端側が受部に当接することで安定して支持することができる。